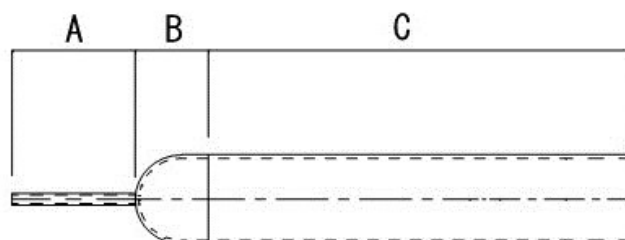


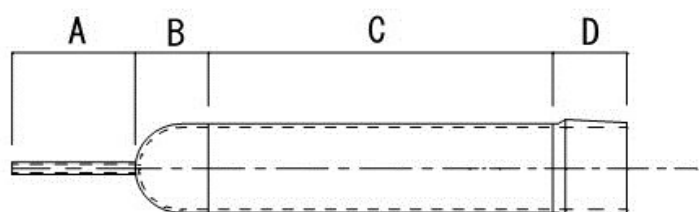
石英炉心管製品の修理について

加熱のことなら
エムエーヒート株式会社

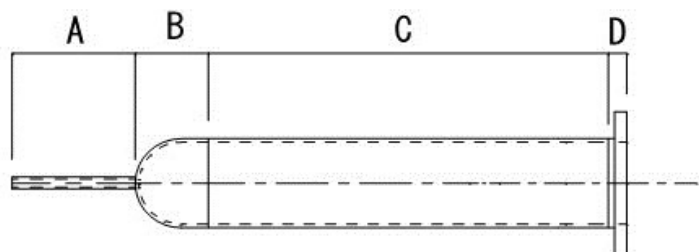


石英炉心管修正について

石英管の変形やエッチングされている場合の再生では、主にC箇所のみを新品にすることでコストを抑えることが可能です。



D箇所のオステーパーやフランジの小さな欠けなどは石英ガラス棒を用いて溶接を行い、研磨、焼き上げを行うことで簡易修正が可能です。
※テーパー修正の場合、修正範囲によりますが、現品擦り合わせが必要な場合がございます。



破損範囲が大きく取り換えの場合も使用可能な箇所は再利用を行うことをお勧めいたします。

A、B、C、D箇所について、修理前の状況を確認してコストを抑える、また納期面などお客様のご要望をお聞きしてご対応をいたします。

石英テーパー製品について

加熱のことなら
エムエーヒート株式会社

共通擦合せ標準規格

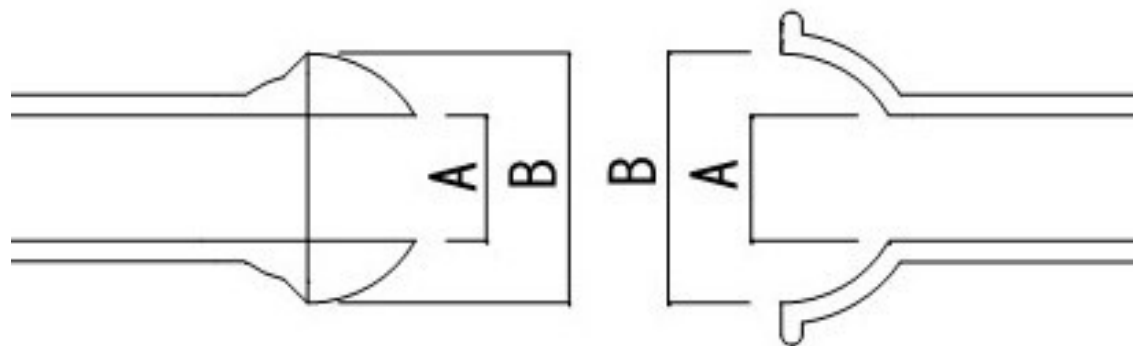


標準規格以外の寸法なども製作可能です。
お問合せください。

炉心管外径mm	共通擦合せ
70±1.5	80/50
80±1.5	90/50
90±1.5	100/50
100±1.5	110/50
110±1.5	120/50
120±1.5	130/50
130±1.5	140/50
140±1.5	150/50
150±1.5	160/50
160±1.5	170/50

石英球面擦合せ製品について

加熱のことなら
エムエーヒート株式会社

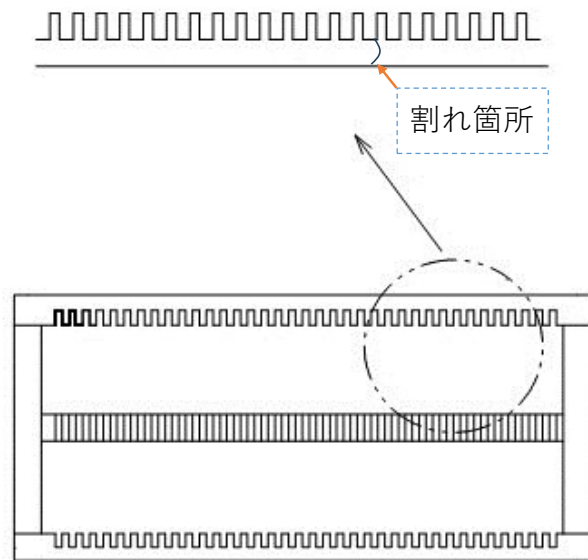


共通球面擦合せ標準規格

記号	12/1	12/2	12/3	12/5	18/7	18/9	28/12	28/15	35/20	40/25	50/30
内径A	12	12	12	12	18	18	28	28	35	40	50
球形直径B	1	2	3	5	7	9	12	15	20	25	30
管外径（参考）	8	8	8	8	10	12	16	20	25	30	35

石英ボート製品の修理について

加熱のことなら
エムエーヒート株式会社



割れ箇所

石英ボート修正について

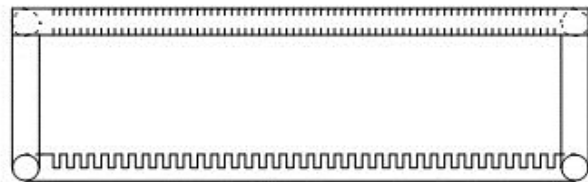
石英ボート溝部の割れなどの場合、溝棒自体の交換修理を行うことが多いと思います。

その場合、マシニングセンターや溝切り機にて新たに溝加工を行ったものを新作する必要があるございます。

溝切り加工は、複数本で一度に行う場合が多く、コストを抑えております。

破損した溝棒を1本新作交換するだけだとコストが上がります。

もちろん溝棒交換でのご対応も可能ですが、下記ご提案内容含めお問合せください。



ご提案

①割れた溝棒箇所を修正する。

割れ部を火炎バーナーで熔融させ、石英棒を溶かし込み、研磨を行うことで形状を整えます。

手加工での修正になる為、機械で切削したようにはならないですが、可能な限り形を整えます。